

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	母子・父子福祉センター 大阪市立愛光会館
施設所管課・担当	こども青少年局子育て支援部こども家庭課ひとり親等支援グループ
条例上の設置目的	母子家庭の母及び父子家庭の父並びに寡婦の経済的自立を助長し、その福祉を増進するとともに、その扶養する児童の健全な育成に資することを目的とする。
業務の概要	① 職業技術指導等（大阪市ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業） ② 講演会、講習会その他教養講座の開催 ③ ひとり親家庭等に対する各種相談事業 ④ 会館の使用申請の受付・許可 ⑤ 会館及びひとり親家庭等支援制度に関する広報・啓発 ⑥ 会館内における自主事業（飲料水自動販売機設置による施設利用者の利便性向上）
成果指標	令和3年度からの指定管理者募集における法人提案から次のとおり年度協定において設定。 (1)ひとり親ニーズへの対応満足度（アンケートにより測定） (2)就業・自立支援に対する対応満足度（アンケートにより測定） (3)就業・自立支援において適切に対応できた割合（事業実績による自己測定）
数値目標	(1)～(3)においてそれぞれ90%以上を目標として設定。
指定管理者名	公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	(1)	(2)	(3)
数値目標	90%	90%	90%
年度実績	96.1%	92.5%	99.1%
達成率	106.8%	102.8%	110.1%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	12,619	10,922	116%
稼働率	13.3%	13.9%	96%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	115,925,978	109,993,245	-3,152,022	職員体制の変更による人件費の減 講習内容の見直しによる委託費の減
	計画	119,078,000	113,836,800		
利用料金収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	24,755	21,994	4,755	自動販売機事業
	計画	20,000	24,000		
合計	実績	115,950,733	110,015,239	-3,147,267	
	計画	119,098,000	113,860,800		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	79,602,149	58,596,311	-1,510,851	職員体制の変更による人件費の減
	計画	81,113,000	58,361,200		
物件費	実績	36,323,829	51,396,934	-1,641,171	講習内容の見直しによる委託費の減
	計画	37,965,000	55,475,600		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	23,449	22,238	3,449	自動販売機事業
	計画	20,000	24,000		
合計	実績	115,949,427	110,015,483	-3,148,573	
	計画	119,098,000	113,860,800		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
(1)	106.8%	B	全ての事業で90%以上の満足度を達成しており、ニーズにマッチした事業を実施したと評価する。
(2)	102.8%	B	利用者からの満足度は非常に高く、適切に対応できていたと評価する。
(3)	110.1%	A	各支援対象者個人に着目してその支援進捗度で測定した。結果として、各ステージに応じた支援が提供できていることは評価できる。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
電気使用量のデマンド監視を活用して電気使用量の抑制に努めるとともに、ペーパーレス化を実施することで、経費の縮減に努めた。	A	燃料や資源価格の高騰と円安の同時進行による諸物価の高騰、また、人件費の上昇の影響を受けながらも、依然として剰余金を市に戻入するなど効率的な施設運営に努め、適正な経費支出となっている。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	老朽化が進む施設であるが、早期及び予防の修繕対応により円滑に会館運営されている。
事業計画の実施状況	B	各事業の実施について、利用者ニーズを取り入れつつ講習内容を見直すことで、ひとり親家庭等に寄り添った事業運営を行った。
施設の有効利用	A	5年ぶりに愛光フェスタを開催し、ひとり親家庭の交流とともに愛光会館事業の周知を行うことで、昨年度から大幅に利用人数が増加した。
社会的責任・市の施策との整合性	A	市の連携パートナー同士の協働事業の実施、新規の求人開拓の実施による就業・自立支援センターの新規利用登録者数の増など、施設の目的を十分に達成した。

5 利用者ニーズ・満足度等

就業支援講習会の受講者に対するアンケート等を通じて見直しを行うなど利用者ニーズの積極的な把握に努めている。 また、コロナ禍により中止していた「愛光フェスタ」を5年ぶりに開催し、ひとり親家庭の交流、新規利用者に対する会館の実施事業の周知を行い、新たなニーズの把握にも努めた。 令和3年から利用者ニーズにより施設内に設置された自動販売機について、実施以来初の黒字事業となった。今度も引き続き実施予定である。 各種事業に対する利用者満足度は概ね高い状況にある。
--

令和6年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

・ひとり親ニーズへの対応満足度は96.1%、就業・自立支援に対する満足度は92.5%、適切な対応ができた割合は99.1%であり、全ての成果指標が目標の90%を上回る実績を達成している。これは、ひとり親家庭が抱える就労や生活の課題に対し、会館がきめ細かく専門的な支援を積極的に展開した結果であると評価できる。

・5年ぶりの「愛光フェスタ」は、ひとり親家庭の交流促進と会館事業の周知に貢献し、利用者数が昨年度よりも増加した。これは、魅力的な機会を提供した運営の成果である。一方、ひとり親家庭の雇用情勢は厳しく、新規求人件数は目標760件に対し452件（達成率59.5%）、就職者数は目標300人に対し267人（達成率89.0%）と、いずれも目標を下回った。多様な求人開拓や求職者への支援強化が求められる。

・全体の満足度は高いものの、就業支援講習会の一部で満足度が90%を下回っており、内容や実施方法の改善が期待される。利用者のフィードバックを基に、個別の改善策を検討する必要がある。

・物価高騰の折から、会館の管理運営経費にも負担がかかっていると推測するが、業務等をきめ細やかに見直して、非常に適切に運営されていることが窺えた。また、就労支援や相談支援等に関する取り組みもしっかりと行っていることも理解できた。ひとり親家庭への中核的な支援拠点として十分にその役割を果たしているが、今後もさらに公民の支援資源を繋いでいただき、NPO等の民間団体が点で存在しているのではなく、面での支援を展開できる体制づくりに注力していただけると有難い。また、利用者ニーズが変化しているかどうか、しているとしたらどのような変化なのかというあたりが気になった。

・自動販売機の売上が黒字ということであるが、今年の猛暑の影響もあるかと思う。来館者に優しい100円自動販売機のような激安のものや、寄付先に名乗りをあげられる寄付型自動販売機のような取り組みもあるようなので、ひとつの取り組みから、さらに何か興味深い展開があればと思った。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	すべての成果指標が目標を上回る実績を達成しており、指定管理者に期待される成果を十分にあげている。 就業支援講習会の一部で満足度が90%を下回っている点は、内容や実施方法の改善が期待される。
市費の縮減		A	諸物価の高騰、人件費の上昇を受けながらも、剰余金を生み出した効率的な施設運営は高く評価できる。
管理運営の履行状況		A	母子・父子福祉センターとして設置されている本施設の目的を十分に理解し、ひとり親家庭への中核的な支援拠点として十分にその役割を果たしている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営			
事業計画の実施状況			
施設の有効利用			
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		A	